

東京で「ふつう」に

暮らすには

月 **294,578円**

必要ってほんと?!

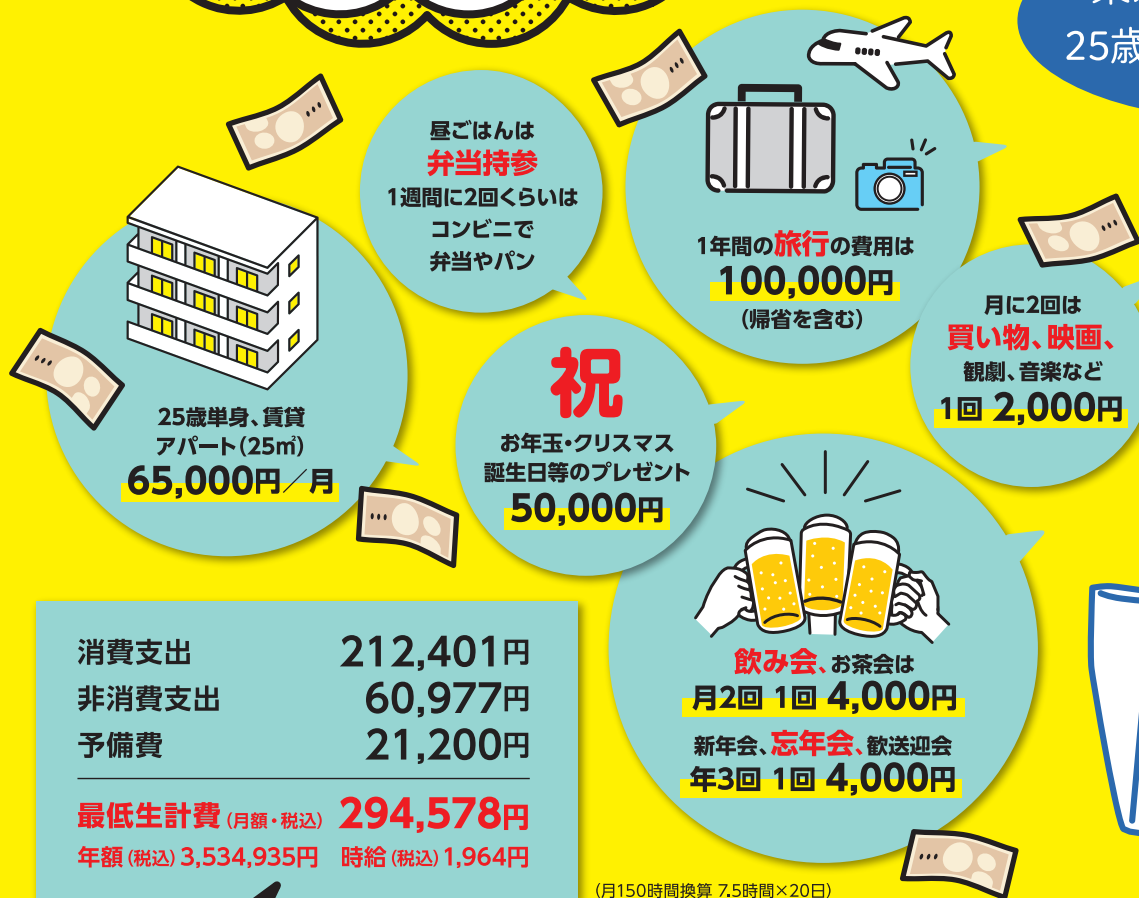
労働者が文化的な最低限の生活を営むための費用

= **生計費** は時給にすると

2,000円

必要です

東京都杉並区在住
25歳一人暮らしモデル



× 生活できるギリギリのお金

○ 旅行アリ、買い物OKな人間らしい暮らしのお金



これ最賃で叶えられる
べきじゃない?

だから
めざそう

最賃
時給

2,000円

東京春闘共闘会議

〒170-0005
東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館6F
tel: 03-3943-6483 fax: 03-5395-3240

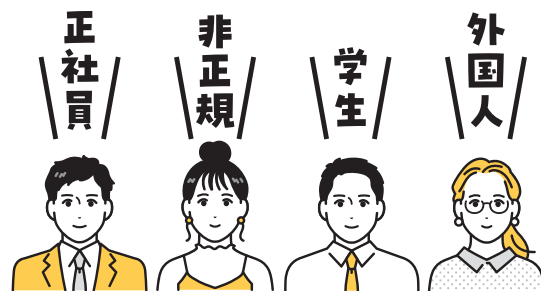
(2025.6@27,000)

私たちが最賃時給2,000円をめざすワケ

そもそも最低賃金って何？

最低賃金（最賃）とは、働くすべての人に、賃金の最低額を国が定める制度です。年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者に適用されます。

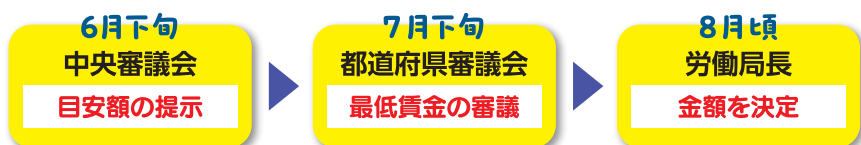
近年は、エネルギーや食料品を中心に物価が上昇し、実質賃金が低下していることから、すべての労働者に関わる最低賃金の引き上げに注目が集まっています。



日本の最低賃金はどうやって決まるの？

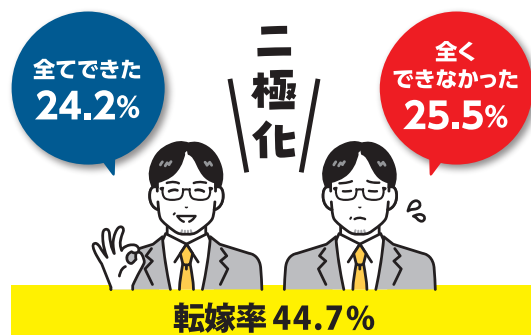
毎年、最低賃金審議会で労働者・使用者・公益（学識者など）の代表が、①労働者の生計費、②賃金水準、③企業の支払い能力を考慮して議論をします。

審議会では、中小企業における人件費負担の増大といった課題も指摘されており、財政面の支援や取引適正化等が求められています。



価格転嫁の状況（労務費）

中小企業庁「価格交渉促進月間（2024年9月）FU調査結果」



＝原材料費や人件費が取引価格に適正に反映される環境整備が必要！

生計費って何？

生計費とは、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むために必要な費用のことを指します。最低賃金は労働者の生活の安定を目的としているため、生計費が重視されるべきです。

しかし、最低賃金審議会では生計費に関する資料が十分に示されていません。たとえば、昨年の東京審議会では、「単身世帯の標準生計費」が示されましたが、これは明らかに低い水準であり、その算定過程も不透明です。

私たちは、マーケット・バスケット方式による生計費試算調査を行い、普通の暮らしに必要な費用を「見える化」しています。この調査によれば、東京都杉並区で「ふつう」に暮らすには月額294,578円が必要だと明らかになりました。



算定の方法は？

マーケット・バスケット方式（全物量積み上げ方式）※を採用。積み上げには、調査をもとに7割以上の人が持っていると回答したものは必需品とみなすルールを設け、実態から乖離させないようにしている。

※健康で文化的な生活を営むために必要な生活用品やサービスの量を、食費＝〇円、住宅費＝△円、のように費目ごとに積み上げて、トータルでの生活費を算定するやり方。